

28-3 教育研究評議会議事概要

日時 平成28年6月15日(水) 13:30~14:35
場所 事務局棟2階会議室
出席者 駒田学長
山本, 鶴岡, 尾西, 加納, 尾藤, 富樫, 後藤(太), 吉岡, 西村, 安間, 堀, 後藤(基),
伊藤, 安食, 樹神, 藤田, 山口, 緒方, 水谷, 清水, 小林(英), 梅川, 神原, 小林(一),
井口
陪席者 武田参与, 服部監事, 小森(教育学部4年生), 岩本(生物資源学部4年生)

◎ 前回議事概要の確認

学長から事前に照会した28-2教育研究評議会議事概要(案)について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

I 審議事項

1. 第2期中期目標期間の評価に係る実績報告書(案)について

尾西理事から、「資料：審-1, 資料1-1~1-3, 資料2-1~2-2, 席上配付1・2」に基づき、本報告書の位置づけについて、毎事業年度及び中期目標期間(6年)ごとに国立大学法人評価委員会(文部科学省に設置)の評価を受けること、今年度は第3期の開始年度であることより、平成27事業年度の業務の実績だけでなく、第2期の6年間の業務実績も評価を受ける必要があること、評価項目のうち、教育研究の状況について、国立大学法人評価委員会は、(独)大学改革支援・学位授与機構に評価の実施を要請し、その結果を尊重することとしていることのほか、「教育研究の状況」については(独)大学改革支援・学位授与機構に、「業務運営・財務内容等の状況」については文部科学省に報告書を提出する旨の説明があった後、各資料の構成についての説明及び、ダイジェスト版による大学の取組や特に成果のあった事項についての説明のほか、今後の審議スケジュールについて本教育研究評議会において承認を得た後、役員会の議を経て、文部科学省及び、(独)大学改革支援・学位授与機構へ提出する旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、学長から、提出までに更に精査を行うこととし、その際に修正があった場合は一任願いたい旨の発言があり、了承された。

また、提出後のスケジュールについて8月30日に文部科学省にてヒアリングが実施されること及び日程については未定であるが(独)大学改革支援・学位授与機構とテレビ会議システムによるヒアリングが実施される予定である旨の付言があった。

2. 国立大学法人三重大学に勤務する職員の勤務時間、休暇等に関する規程の改正について

企画総務部長から、「資料：審-2」に基づき、医学部附属病院救急科、救命救急センター及び集中治療部に所属する大学教員の勤務体制の変更に係る改正についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

II 役員会報告

1. 第5~7回役員会について

学長から、平成28年度、第5回~7回役員会について「資料：役-1, 参考資料1~3」に基づき報告があった。

Ⅲ その他報告事項

1. 平成27年度新卒者の就職状況について

後藤(太)副学長から「資料：報－1」平成27年度新卒者の就職状況における本学の状況について、就職率は昨年度よりアップしており、全国平均より高いこと、産業別では製造業、公務員が高いこと、地域別では三重県内の就職率は減少し愛知県への就職率が増加していること、企業規模別では大手企業・中堅企業への就職が目立っており関東圏への9割、愛知県への8割の就職者は大手企業、公務員であること等についての報告があった。

また、学長より学部における三重県内就職率増加についての考え方・対策・戦略（インターシップのあり方等）について、後日報告願う旨の依頼があった。

◇主な意見等

○人文学部について三重県内への就職率については減少傾向であり、分析をする必要があると考えているが、その現状が就職をする学生本人にとっては（県外の手企業・公務員なので）いいことではないか。また、本社採用となるため三重県に配属されてもわからないので、実際の配属先での統計がとればもう少し違った数値がでるのではないかと思うので検討をお願いしたい。

○愛知県では愛知ブランドの育成のために、県が各大学に働きかけ企業の社長等の講演会の開催等の取組をしていると聞いているが、三重県については愛知県に比べると、どういった魅力を学生に訴えようとしているのかが見えにくいと感じている。

三重県を理解するだけでなく、その中で魅力を積極的に訴えることができれば県内への就職率が上がるのではないかと考えており、ただ三重県にはこんな課題があるということをお訴えているだけでは学生には届かないと思うので検討をお願いしたい。

2. その他

(1) 平成28年度国立大学教養教育実施組織会議について

井口教養教育機構長から「資料：報－2」に基づき、平成28年5月19日・20日と高松市（当番校：香川大学）において開催された平成28年度国立大学教養教育実施組織会議について、特別講演「大学教育は生き延びるか？」、4つの分科会の開催についての報告及び、翌日に行われた香川大学からの提案による協議題「これからの教養教育について」について各大学を代表し宇都宮大学、三重大学が事例報告を行った旨の報告があった。

以上